

柱立て 1 大学入学共通テスト（仮称）について

- (1) 「大学入試センター試験」から「大学入学共通テスト（仮称）」へ切り替える入試改革全般において、その改善効果についてうかがいます。
 - a 学力の 3 要素を多面的・総合的に評価する今回の入試改革は、各大学の個別選抜の改革も含め、その効果は期待できる
 - b 各大学の個別選抜が、多面的・総合的な評価に基づき入試を目指しながらも、時間的・人的な制約から、改革趣旨を十分に生かすことは難しいと思われ、現状では期待できない
 - c 具体的な実施方法にまだ不明の点もあるので、どちらともいえない
- (2) 「大学入学共通テスト（仮称）」の実施時期は従来どおりの 1 月の中旬に落ち着きました。そのことについてうかがいます。
 - a 高校 3 年生の教育活動の時間を、今までと同じレベルで確保することができ、大いに評価できる
 - b 記述式の出題趣旨を考えると、実施時期が少し早まっても記述量をもっと確保してよかった
 - c 実際のテストが始まってみないと、どちらともいえない
- (3) 「大学入学共通テスト（仮称）」において国語・数学で記述式問題が導入されます。すでにモデル問題例が 5 月に示されました。国語においては 80～120 字程度の記述問題を含め 3 問程度、数学においては数式・問題解決の方略などを問う問題が 3 問程度出題される予定です。記述式問題の実施についてうかがいます。
 - ① 期待される効果についてうかがいます。
 - a 記述式問題の導入で、従来よりも受検生の「思考力・判断力・表現力」を評価することができる
 - b 記述式問題を導入しても、従来よりも受検生の「思考力・判断力・表現力」をそんなに評価できるとは思わない
 - c 現時点では、どちらともいえない
 - ② 国語の記述式問題の問題量が、3 問程度についてうかがいます。
 - a 適量である
 - b 多すぎる
 - c 少なすぎる
 - d どちらともいえない
 - ③ 数学の記述式問題の問題量が、3 問程度についてうかがいます。
 - a 適量である
 - b 多すぎる
 - c 少なすぎる
 - d どちらともいえない
 - ④ 記述式問題の採点においてはその能力を有する民間事業者を有効に活用するとありますが、採点の公平性についてうかがいます。
 - a その能力をもつ民間事業者の採点なので不安はない
 - b 多くの受検生の採点を短期間で行うので、やはり不安がある
 - c 実際のテストが始まってみないと、どちらともいえない
 - ⑤ H28 年度に大学入試センターが実施したモニター調査において、自己採点と実際の採点結果が平均で数学は 90%以上一致しましたが、国語は平均 70%ほどしか一致しませんでした。2 次試験への出願指導への影響についてうかがいます。
 - a プレテストを丁寧に検証すれば、自己採点の制度も上がり出願指導に支障は生じないと思う
 - b 出願指導に支障が生じると思う
 - c 実際のテストが始まってみないと、どちらともいえない
 - ⑥ 記述式問題についてご意見があればお書きください。
()

柱立て2 新しい大学入学者選抜について

- (1) 高大接続の改革の流れの中で、新たな大学入学共通テスト（仮称）の具体的な内容も明らかになってきました。大学側の共通テストの利用についてうかがいます。
- a 大学入学者選抜の改革の趣旨を尊重し、全ての国公立大と私立大は共通テストに参加して、新たな入学者選抜に取り組むべきである
 - b 各大学が個別選抜の改革を行っていく上で、多くの国公立大学や私立大学は共通テストに参加することが望ましい
 - c 共通テストに参加するかどうかは、各大学独自の判断でかまわない
- (2) AO入試や推薦入試において、過度な早期選考と合格発表、学力不問の傾向が続き大きな課題となっていました。今回の大学入学者選抜実施要項の見直しにおいて新たなルールが出されました。
- ① AO、推薦入試において、各大学が実施する評価方法等（小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、各教科・科目に係るテストなど）又は「大学入学共通テスト（仮称）」の少なくともいずれか一つの活用を必須化しました。そのことについてうかがいます。
- a 何らかの形で、受検生の学力を問うことを必須とした点で、大変評価できる
 - b 今までの多くの大学の入試の実施状況をみると、きちんと履行されるか分からない
 - c 実際の入試が始まってみないと、なんともいえない
- ② AO入試においては、出願を1ヶ月遅らせ9月以降とし、合格発表を11月以降と新たに決めました。また、推薦入試においては、出願は現行の11月以降ですが合格発表時期を12月以降と新たに決めました。そのことについてうかがいます。
- a 高校3年生での、選抜に合格した後の学習意欲の低下を食い止める点で、大変評価できる
 - b 今までいくつかの大学が選抜時期を守らなかった状況があり、きちんと履行されるか分からない
 - c 実際の入試が始まってみないと、なんともいえない
- (3) 学力の3要素を多面的・総合的に評価するため、調査書や提出書類等の改善が求められています。
- ① 調査書において、生徒の特長や個性、多様な学習や活動を適切に評価できるよう記載事項が拡大されました。そのことについてうかがいます。
- a 生徒を多面的に大学側が評価をする目的なので、担任の作成業務には負荷がかかるが、賛同できる
 - b 現状で調査書などを活用できない状況もあり、電子データでの提出など、大学側が活用できる環境作りが先である
 - c 実際の入試が始まってみないと、なんともいえない
- ② 推薦書や活動報告書、大学入学希望理由書、学習計画書など必要に応じて、様々な書類を作成する必要があります。これらの書類を作成する上での課題や留意すべき点など、またご意見があればお書き下さい。
- ()
- (4) 小論文・プレゼンテーション・集団討論・面接など選抜方法の多様化に対する高校側の指導体制の整備についてうかがいます。
- a 現行の教育課程においても、工夫することにより対応できる
 - b 現行の教育課程においては、時間的な余裕や教員の指導力などの課題があり、十分な指導は校内では難しい
 - c 具体的な選抜方法・内容がまだ分からないので、なんともいえない

(5) 新しい大学入試は、大学入学共通テスト（仮称）での記述式問題など、今までのテストにない新たな形式の問題の出題や、個別選抜ではエッセイやプレゼンテーションやディベートなどの活用が考えられています。また、英語の4技能については、民間の認定試験の活用も考えられています。受験生の立場では、学校での学習だけでなく、塾・予備校を活用する場面が増えると思われ、各家庭の経済力や地域差が、教育の機会均等や進学結果に影響を与えることが心配されます。

① 各家庭の経済力が今まで以上に入試の結果に影響を及ぼすと思いますか。

- a そう思う
- b ある程度そう思う
- c あまりそう思わない
- d そう思わない

② 地域差が今まで以上に入試の結果に影響を及ぼすと思いますか。

- a そう思う
- b ある程度そう思う
- c あまりそう思わない
- d そう思わない

(6) AO入試や推薦入試、一般入試のあり方を見直し多面的・総合的な選抜実施の方向性が示されました。きめ細かな入学選抜を実施するためには、人的・時間的に大学側にも相当な負担増になることが想定されますが、個別選抜の開始時期が繰り上がります。そのことについてうかがいます。

- a 今まで同様2月以降の実施が望ましい
- b 1月25日又は「共通テスト」の追試験・再試験日の翌日のいずれか遅い日以降の実施となるのもやむを得ない
- c 現時点では、なんともいえない

(7) 新しい大学入試の実施に伴い、生徒一人一人の多面的な評価を高校側でも記録し、大学側へ丁寧な情報提供をすることが重要となってきます。その流れの中で、高校側としてご意見等ございましたらお書きください。

()

柱立て3 現教育課程における大学入試について

新しい大学入試を検討している最中ですが、現行の大学入試センター試験は現高校1年生まで、今後引き続き行われますので、現教育課程のもとでの実施について、ご意見をうかがいたいと思います。

(1) 大学入試センター試験における理科の科目についてうかがいます。

(ここでは、基礎を付した「理科」、例えば「物理基礎」等を2単位科目、基礎を付さない「理科」、例えば「物理」を4単位科目と表現します。)

理科の出題科目の選択方法は次のとおりです。

- A : 基礎を付した4科目から2科目を選択
- B : 基礎を付さない4科目から1科目を選択
- C : 基礎を付した4科目から2科目、及び基礎を付さない4科目から1科目を選択
- D : 基礎を付さない4科目から2科目を選択

① 4単位科目は、高校での学習時期等を考慮して、選択問題の配置を考えるとありますが、これについてうかがいます。

- a 選択問題を配置することいい
- b 選択問題を配置することではなく、出題範囲を限定するのがいい
- c 選択問題を配置せず、出題範囲を全範囲とするのがいい
- d いずれともいえない

- ② 理科の選択の方法のCタイプ（2単位科目2科目、4単位科目1科目）において「物理基礎、化学基礎、物理」のように同じ名前の科目を取ってよいことになっています。この場合、200点のうち150点が物理、50点が化学の分野となりますが、これについてうかがいます。
- a この選択方法を認めてかまわない
 - b 3科目になってもよいからこのような選択方法は認めるべきではない
 - c どちらともいえない

③ 現教育課程における大学入試センター試験の理科の科目について、ご意見があればお書きください。

()

(2) 大学入試センター試験の国語の問題は、教科書に掲載された作品は、学校で習った受験生と習わなかった受験生がいることから、公平性の観点で教科書に掲載されていない作品から出題されてきています。その結果、古典はオーソドックスな作品からはほとんど出題されていない現状があります。古典について教科書に掲載された作品を出題することについてうかがいます。

- a 教科書に掲載された作品を使うことは慎重にすべきである
- b 教科書に掲載されたものでも使ってい
- c どちらともいえない

(3) 大学入試センターは、前回のセンター試験から、会場ごとに全ての受験パターンに対応するのではなく、会場ごとに受験パターンを限定し、受験生の動きや問題の配付などにおける事故の防止を図りました。このことについてうかがいます。

- a 配付ミス等がなくなり、事故防止には効果的な改善であった
- b 同じ学校の生徒が異なる受験会場となるデメリットの方が大きい
- c どちらともいえない

(4) 現教育課程では「コミュニケーション英語Ⅰ」という科目が必履修になりました。現在でも多くの大学で、大学入試センター試験のリスニングを課していますが、今後、大学入試センター試験だけでなく、個別選抜においてもリスニングを課することについてうかがいます。

- a 大学入試センター試験でも個別選抜においてもリスニングを課するのがいい
- b 会場、放送機器等条件が揃えばリスニングを課したほうがいい
- c リスニングを課すことには慎重になったほうがいい
- d 現状と同じで、大学の判断でいい
- e いずれともいえない

(5) 現教育課程では、いわゆる「歯止め規定」が撤廃されました。個別選抜において、発展的な領域に属する問題も出題したいと考えている大学もあるようです。全高長では「学習指導要領に記載されている範囲を限定的に解釈した出題」をお願いしています。このことについてうかがいます。

- a 全高長の立場に沿って、発展的領域に属する問題は出題は望ましくない
- b 大学が事前に範囲を発表するなら、発展的領域に属する問題は出題してもいい
- c 大学が自由に出版すればいい
- d いずれともいえない

(6) 現教育課程における大学入試センター試験全般について、ご意見があればお書きください。

()

以上 ご協力有り難うございました